

越中を経て、越後高田に至るまでを下りとし、高田から信濃追分までを上りとし、追分から江戸までが下りであるが、この全行程を通じて加賀藩では下街道といひ、参勤の往復にこの路線を探るを最も普通とした。所要の日数十三日又は十四日であつた。

- 金澤大樋町 柳橋 森下 二日市 太田 中
- 條 三里(津幡) 杉、瀬 三十一町 竹橋 森(俱利伽羅) 越中荒町 植生 二里二十二町 今石動
- 荒川 福岡 立野 四里八町 高岡 大門 二里二十五町
- 小杉 戸破 白石 一里 小杉 戸破 願海寺 十六町 下村 本江 海 五福 舟橋 二里二十
- 老江 西岩瀬 草島 二 五町 富山 新庄 西里三十四町 東岩瀬 西水 水橋 東水橋 四里
- 橋 東水橋 高月 二里 二十五町
- 滑川 笠木 栗山 二里一町 魚津 道下 經田 二里三町
- 三日市 長屋 若栗 三日市 植木 沓掛 一里二十七町 浦山 愛 青木 上野 二里十六町
- 本 一里十七町 舟見 入膳 君島 桐山新 今江 南保 二里二十 古里部 西草町 二里九町
- 泊 宮崎 境 越後玉、木 一里二十九町 市振 親不知 風羽見 一里三十五町 外波 歌 一里二十
- 六町 青海 寺地 田海 須澤 寺島 一里十六町 糸魚川 押上 大和川 田伏 一里六町 梶屋敷
- 中濱 間脇 鬼舞 木、浦 二里二十二町 能生 小泊 百川 藤崎 筒石 三里 各立 小泊 二里
- 有間川 一里 長濱 虫生岩戸 居多 五智國 分 大場 大豆 二里 中屋敷 藤卷 木田 一里 高田 今泉 石澤 柳井田 栗原 稻塚 石

- 塚 二里 新井 小出雲 藤澤 二本木 一里十
- 六町 松崎 市屋 片貝 稻荷山 一里半 關山 坂口 二俣 二里 小田切 毛祝坂 一里 關川
- 境 一里 信濃野尻 一里 柏原 古間 落影 二里
- 牟禮 平出 新田 牟禮 平出 新田 神吉村 田子 上野 二 代 三里 長沼 村山
- 里半 新町 一里 善光 福島 綿内 二里二十八町
- 寺 一里十町 丹波島 川田 大室 二里 松代
- 北原 御幣川 三里 土口 雨宮 二里半
- 屋代 柏生 一里半 下戸倉 一里半 上戸倉 坂
- 城 四屋 中之條 金井 新地 塩尻 秋和 三里 上田 小坂 國分 大屋 海野 二里半
- 田中 加澤 牧家 赤岩 西原 二里半 小諸
- 乙女 平原 馬瀬口 三谷 三里半 追分 借宿 一里 香掛 離山 一里 輕井澤 二里三十町
- 上野坂本 横川 五料 新堀 二里十二町 松井田 郷原 原市 二里八町 安中 中宿 二十九
- 町 板鼻 藤塚 豊岡 一里三十町 高崎 一里十
- 二町 倉賀野 岩鼻 一里半 落合新町 武藏金久保 石神 小島 二里 本庄 牧西 堀田
- 岡部 二里二十五町 深谷 籠原 新堀 新島 二里三十町 熊ヶ谷 久下 吹上 箕田 四里八町 鴻
- 巢 東間 北本宿 大加納 一里三十町 桶川 町谷 一里 上尾 二里 大宮 針ヶ谷 一里十町 浦
- 和 根岸 一里十四町 蕨 戸田 志村 二里十町 板橋 平尾 巢鴨 駒込 追分 本郷 湯島 二里 江戸日本橋
- 上記の内越中の富山往來・入膳往來及び信濃の松代往來は通常之を通過することなくして、その總里數を武鑑には百十九里餘と公稱せられる。その松代往來は一に川田通ともいひ、犀川・千曲川の増水によつて渡舟の便を

- 失うた時に取るもので、本道よりも二里半許遠い。又その外に、牟禮から分かれ、神代坂を越え、須坂・仁禮・菅平・鳥居峠・上野の大笹・長野原・澁川を経て高崎に出る道路を大笹越といつて、本道よりも約二里近かつた。
- シモカイホツ 下開發 能美郡山上郷に屬する部落。
- シモカサシ 下笠師 鹿島郡笠師の内の小字。
- シモカシハノ 下拍野 石川郡山島郷に屬する部落。寶永誌に、この村領の内に笠石といふ石があり、その邊に寺があつた跡で、亂塔田の名も残つて居るとある。
- シモカハサキ 下河崎 江沼郡四十九院谷に屬する部落。
- シモガハチ 下河内 シモガハチ 鳳至郡河内(今北河内)の内の小字。
- シモカハテイ 子母川亭 金澤蕉風俳人の庵號。車大の門人曾魚初めて之を稱へ、後常丸その二代を襲いだ。
- シモカハヒ 下河合 羽咋郡押水大海庄に屬する部落。
- シモガハラ 下河原 羽咋郡河原の内の小字。
- シモカラカハ 下唐川 シモカラカハ 鳳至郡穴水郷之内大屋庄に屬する部落。枝村に丸山があつて、親村より南方一軒を隔る。
- シモキナメリ 下木滑 石川郡木滑の内の小字。
- シモキヨカネ 下清金 石川郡清金の内の小字。
- シモキンマ 下金間 石川郡金間の内の小字。

- シモクロガハ 下黒川 鳳至郡大屋庄に屬する部落。
- シモゴトウ 下後藤 ↓ゴトウトクジヨウ 後藤徳乘。
- シモゴホリ 下郡 北陸七國志に加賀のことをいふて、上郡・下郡一同に蜂起すとある。その下郡は石川・河北二郡を指すのである。
- シモザカヒ 下境 羽咋郡邑知院内若部保に屬する部落。もと無家の地であつたが、明治中に至り一邑とし、更に本江に合併せられた。明曆二年八月朔日前田利常の印書に「羽咋郡本江村若部村物成之事」とある境村は附近寺境のことと、この下境ではあるまい。
- シモサザナミ 下佐佐波 鹿島郡佐佐波の内の小字。
- シモシドウ 下祠堂 金澤曹洞宗寶圓寺内に在つて、大阪冬役に從軍戦歿した加賀藩士五人、夏役に戦歿した三十五人の位牌堂であつた。下祠堂の名は、歴代藩侯の廟堂のある所に造營せられたによる。元和四年前田利常之を創建し、享保十三年 照大和尚再造したが、寶曆九年の災に罹つて無くなつた。
- シモシマダ 下島田 石川郡上島田の内の部落。
- シモシミツ 下清水 能美郡山上郷に屬する部落。
- シモシラヤマ 下白山 白山嶺上の神祠に對して石川郡鶴來に在る神殿を下白山と呼んだ。即ち白山記に「加賀下山七社、白山金劍岩本三宮 此ヲ號本。中宮佐羅別宮、此號中宮三社也。惣云七社。越前下山七社 號平、白山三所權現奉崇之。禪頂三所御事也。美乃下山